

—Safety News—

きらめき

2020年11・12月

発行
東北情報インフラユニオン
仙台市若林区新寺一丁目2番7号
TEL: 022-297-5196
FAX: 022-297-5198
発行責任者: 石川 亨
編集責任者: 村上 良智

インフラ東北『安全衛生統一行動』

期 間: 2020年11月9日(月)~12月25日(金)



インフラ東北は、「安全労働はすべてに優先する」との基本認識のもと、情報労連や通建連合方針を踏まえ、「安全で安心して働ける職場の確保」を目指し取り組みを実施してきました。しかし、全国的に人身事故の連鎖は止まることなく、これまで発生している同様の事故が発生し、その多くは、作業者自身の近道行動や不安全行動が起因するものとなっています。そのような状況にあることから、「決めたことは守り、私たちの職場からは絶対に事故を発生させない」との意識啓発を目的としたインフラ東北独自の「安全衛生統一行動」を実施することとしました。

具体的には、2020年11月9日(月)~12月25日(金)の期間において、各職場で実施される安全衛生推進会議・安全工法委員会・朝礼等に組合役員・分会長が参加させて頂き、作業環境の悪化や年末における工事繁忙にある現場で従事されている方々を含めすべての職場で働く全従業員の皆様に、安全労働確立に向けた注意喚起を行うことで安全意識の高揚や職場風土の醸成に向け取り組みを展開してきました。

そのような中、11月14日に岩手県一戸町奥中山地内において、アクセス設備保全業務委託契約における伐木作業中、切断した木に作業員が巻き込まれ死亡するという重大人身事故が発生しました。

インフラ東北としては、私たちの仲間が死亡するという”絶対に起こしてはいけない”重大人身事故の発生を、危機感を持って受け止め、現場における安全労働を最優先に捉え、私たちの仲間が安全で安心して働ける職場の確保に向け、引き続き、労働組合として取り組みの強化を図っていくこととします。

現場作業にあたっては、これまで発生した事故等を決して”対岸の火事”と捉えることなく、再発防止策を再確認し、「私達の職場からは絶対に事故は発生させない」との強い意識を持って頂きたいと思ひますし、『決めたこと・決められたことは守る』『近道行動・不安全行動の排除』『基本動作・作業手順の徹底』をお願いしたいと思います。また、現場作業においては都度環境が変わり危険も各々です。状況によっては勇気を持って一度作業を中止するなどの対応をお願いします。

安全より優先する仕事はありません。

また、安全作業にあたっては、身体だけではなく「こころの健康」も大切だと考えています。悩みごとや心配ごとがあれば家族や周りの仲間に相談し、リフレッシュして前向きに仕事に取り組める環境づくりも併せてお願いしたいと思います。

今後は冬期間に入り、作業環境がますます悪化する中、年末・年度末の繁忙時期を迎えます。決して慌てることなく、現場環境を踏まえた安全作業に努め、仲間そして家族の元に笑顔で帰りましょう！

笑 LET'S GO HOME WITH A SMILE!!
笑顔で帰ろう!!